

2020年10月20日 全6頁

新型コロナ拡大の影響を探る 消費データブック（10/20号）

個社データ・業界統計・POS データで足元の消費動向を先取り¹

経済調査部 エコノミスト 山口 茜
研究員 和田 恵

[要約]

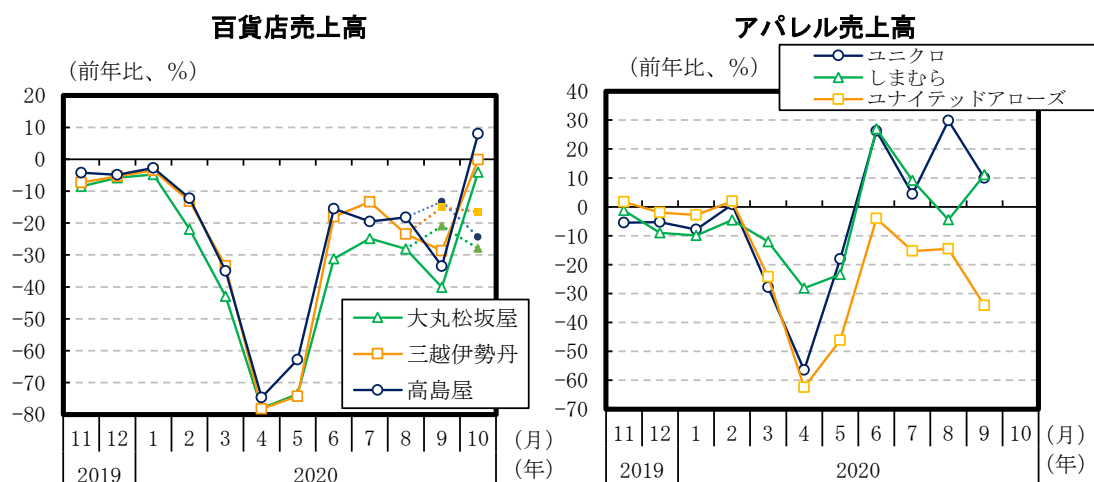
- 10月前半の消費は9月と同程度だったと見込まれる。財消費が減少した一方、サービス消費は増加したとみられる。財に関して、10月前半の家電量販店やホームセンター等の売上は9月から減少した。他方、サービスに関しては「Go to トラベルキャンペーン」の東京都への適用拡大や「Go to Eat キャンペーン」の開始などにより増加したとみられる。なお、10月前半の新幹線輸送量は9月から前年比マイナス幅が縮小した。
- 【小売関連】10月前半の大手百貨店の売上減少率は、前年の消費増税前後の影響を除いた前々年比ベースでは9月からマイナス幅が拡大した。また、10月前半のスーパーの売上は前月比▲5%程度、ホームセンターは同▲10%程度、家電量販店は同▲30%程度といずれも9月から減少した。家電量販店ではエアコンや冷蔵庫など幅広い品目で減少した。特別定額給付金等による政策効果が一服したとみられる。
- 【サービス関連】10月前半の新幹線輸送量は前年比5~6割減程度と9月からマイナス幅が縮小した。旅客機に関して10月は国内線の約3~5割、国際線の約9割が運休予定であり、運航便の割合は9月から小幅に上昇。

¹ 本稿は、速報性の高い個社データ・業界統計・POS データを基に、足元の消費動向を確認する定期レポートである（2020年4月初めから公表開始）。

<小売関連>

- ◆【百貨店】大手3社の10月前半の既存店売上高は概ね前年並み。
前年の消費増税前後の駆け込み需要・反動減の影響を除いた前々年比ベースでは2割減程度と9月からマイナス幅が拡大。
- ◆【アパレル】9月の既存店売上高の前年比伸び率は、しまむらとユニクロは前年比1割増程度、ユニテッドアローズは秋冬商品の販売が低調で同3割減程度。

図表1：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。10月分は14日まで。

色付きのマーカーは前々年比（三越伊勢丹と9月高島屋の前々年比は大和総研による試算値）。

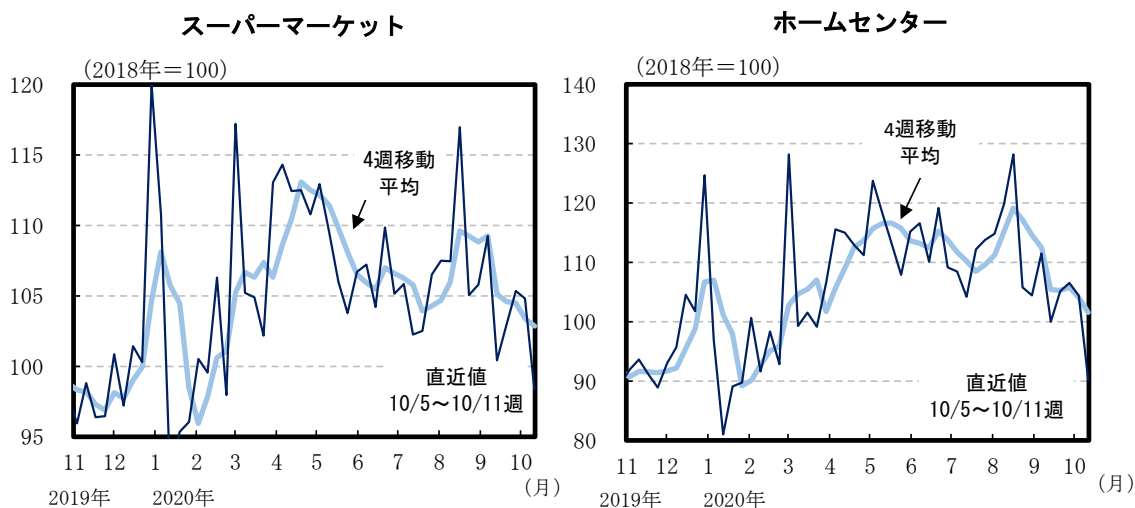
(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。

しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値。

(出所) 各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパー】10月前半の売上は前月比▲5%程度（大和総研による季節調整値）。
主力の食品売上も小幅に減少（同▲2%程度）。
- ◆【ホームセンター】10月前半の売上は前月比▲10%程度（大和総研による季節調整値）。
雑貨など幅広い品目で減少。

図表2：スーパーマーケット・ホームセンターの売上高

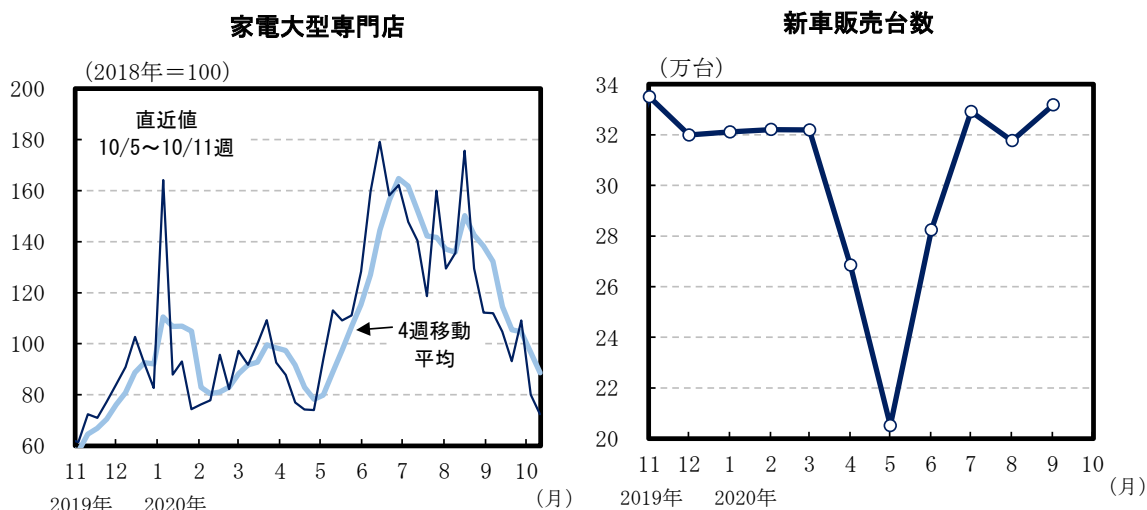


(注) METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

- ◆【家電】10月前半の大手家電量販店の売上は前月比▲30%程度（大和総研による季節調整値）。エアコンや冷蔵庫など幅広い品目で減少。特別定額給付金等による政策効果が一服したとみられる。
- ◆【自動車】9月の新車販売台数は8月から1.4万台増加（大和総研による季節調整値）。

図表3：家電・自動車の売上高



(注1) 家電大型専門店：METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。

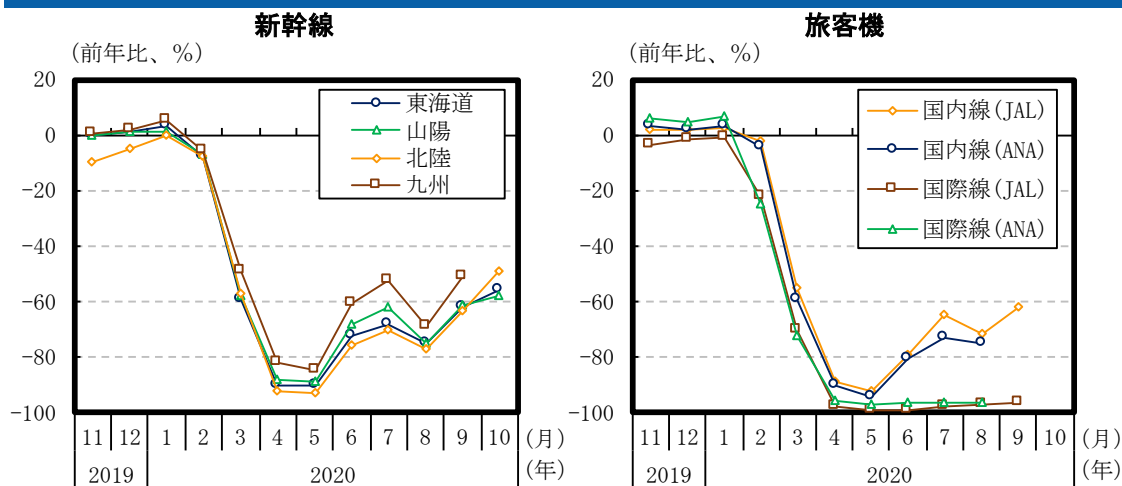
(注2) 新車販売台数：月次データ。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】10月前半の輸送量は前年比5~6割減程度と9月からマイナス幅が小幅に縮小。
- ◆【旅客機】JALグループの9月の輸送量は、国内線は前年比6割減程度とマイナス幅は8月から縮小。国際線は8月と変わらず同95%減程度。10月はJAL・ANA両グループで国内線の約3~4割、国際線の約9割が運休予定であり、運航便の割合は9月から小幅に上昇。

図表4：新幹線・旅客機の利用状況



(注1) 新幹線の10月分は、東海道、山陽、北陸が14日まで、その他未公表。

(注2) JAL・ANAのデータはグループ会社を含む数値。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】8月の外国人宿泊者数（宿泊日数ベース）は、7月と同様にほぼゼロで推移。引き続き入国制限を行っていることから、9月、10月も同様の結果を見込む。

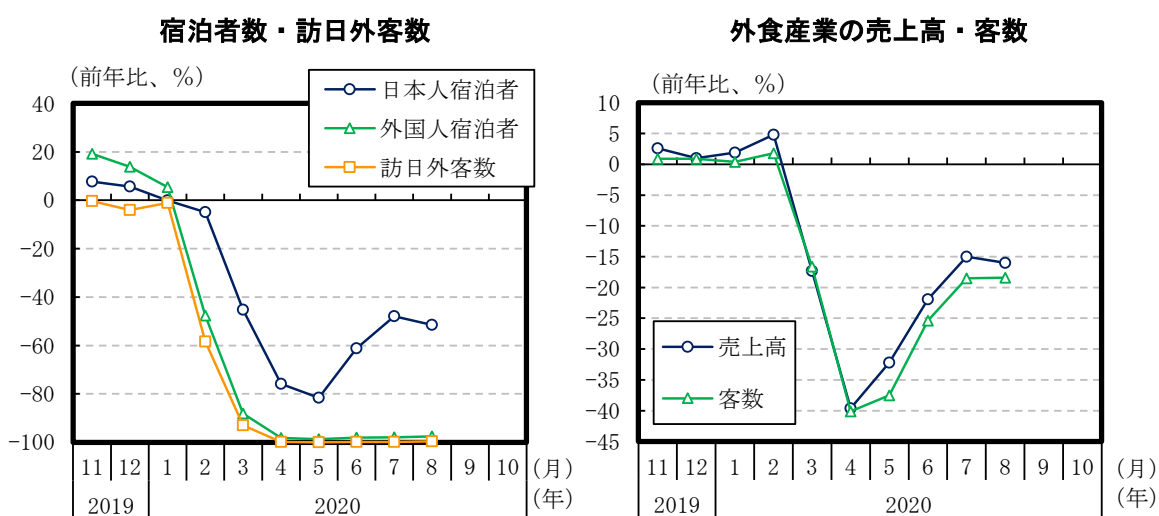
8月の日本人宿泊者数は前年比5割減程度と7月から横ばい。

JCB消費NOW等のデータに基づくと、9月は「Go To トラベルキャンペーン」の影響で前年比マイナス幅が小幅に縮小したと推測。10月は同キャンペーンが東京都へ適用拡大されたことから、前年比マイナス幅の更なる縮小を見込む。

- ◆【外食】8月売上伸び率は前年比15%減程度と7月から変わらず回復が頭打ち。

JCB消費NOW等のデータに基づくと、9月は8月と概ね同程度と推測。10月は「Go To Eat キャンペーン」が開始されたことから、前年比マイナス幅の縮小を見込む。

図表5：宿泊者数・訪日外客数／外食産業の売上高・客数

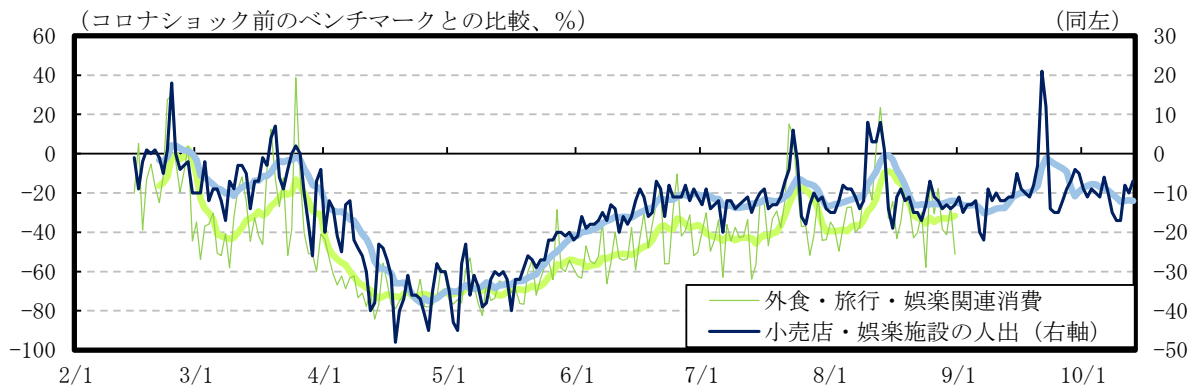


(注) 宿泊者は宿泊日数ベース。

(出所) 観光庁、日本政府観光局（JNTO）、一般社団法人日本フードサービス協会統計より大和総研作成

<参考：Google 社の位置情報データ>

図表 6-1：小売店・娯楽施設の人出と外食・旅行・娯楽関連消費

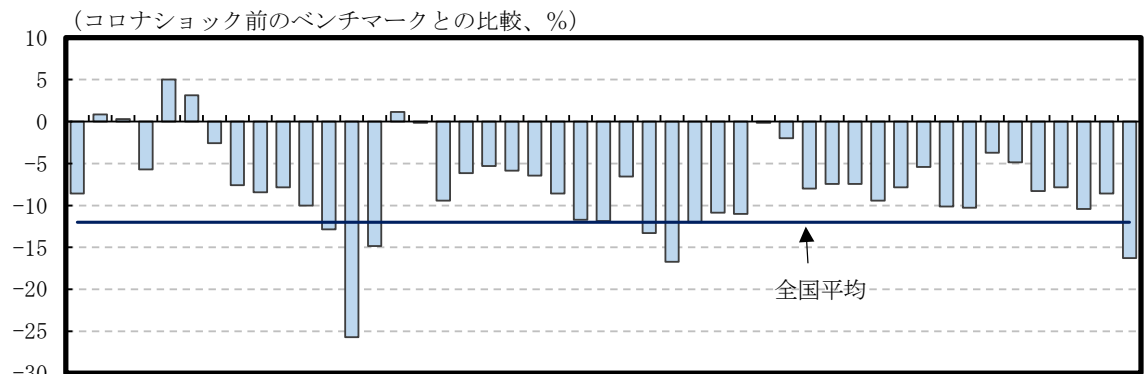


(注) ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。太線は7日移動平均。

外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

(出所) 総務省統計、Google“COVID-19 Community Mobility Reports”より大和総研作成

図表 6-2：小売店・娯楽施設の人出 (10/7~10/13 平均、都道府県別)



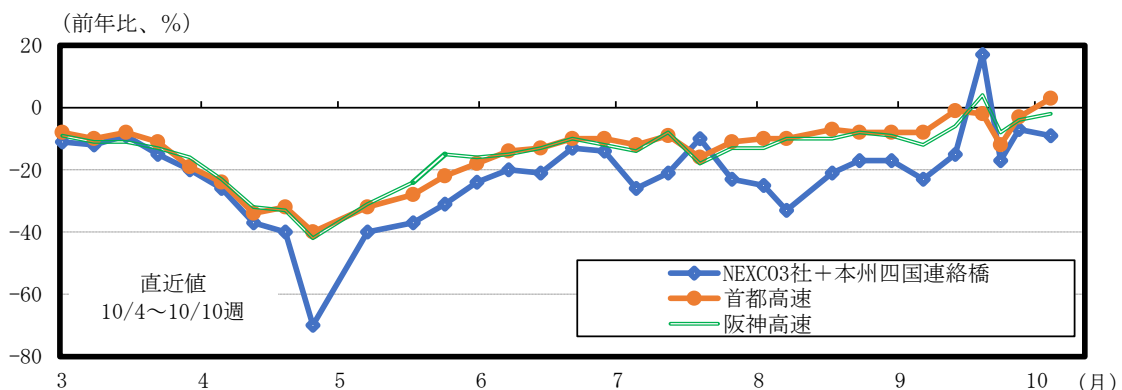
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄
道 川 山 島

(注) ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。

(出所) Google“COVID-19 Community Mobility Reports”より大和総研作成

<参考：高速道路交通量>

図表 7：高速道路交通量

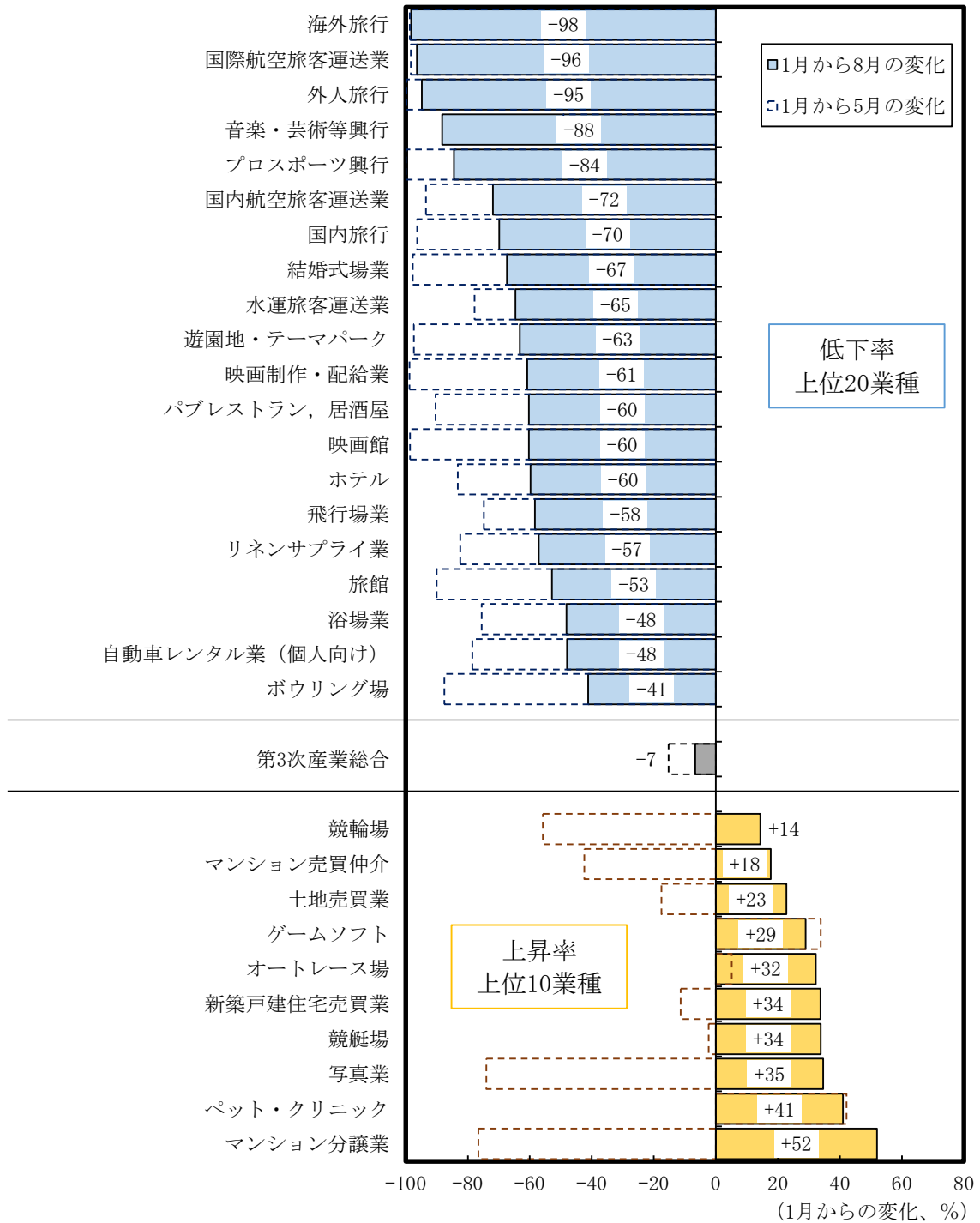


(注) 週次データ。高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィークの前後の週は集計日数が異なる。

(出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

図表8：第3次産業活動指数



(注) 季節調整値。図中の数値は1月から8月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成